

地域へのハイテク 技術導入事業報告

日本初の農家の農家による農家の ための営農気象情報配信事業

特定非営利活動法人
坂の上のクラウド利用研究会
理事&気象予報士 清水 和繁



それは一本の電話から始まった！

ある日、農業法人J・W・Fの牧秀宣さんから電話があった。「本を整理していると懐かしい本が出てきた。今、やろうとしていることが全部書いてあるぞ。」というものだった。タイトルは『日本一農家のハイテク技術』で、パソコンを農具として利用し成功した事例を紹介した農業情報化のバイブル的な本である。書かれたのは1990年代の前半で、農業情報化の必要性を感じた先進的な農家が集い、今の農業IT化の先駆けとなった時代である。それから25年余の時間が経ち、愛媛県の支援を受けて産官共同で開発した日本初の農業用気象クラウドを実用化するために、県内の農家が参集し、「営農気象クラウド」として進化させ、スマートフォンやタブレットを農具として扱うべく、自らが気象情報などを配信する事業を去年の3月に立ち上げた。

天地の経文を読み解く

農家は、農業を営む上で価値があり、かつ災害への備えとなるリスク情報としての気象情報を求めている。自分の圃場



クラウドを利用する農家

間予報により実現するとともに、気象要素（気温・湿度・風速・降水量など）を条件設定すれば、直ちにメールで知らせてくれる「アラート機能」を完備し、圃場の積算降水量や有効積算温度、霜や降雪の注意アラートなども利用できる機能をも持ち合わせている。さらに、台風や寒波情報、1ヶ月や3ヶ月先の気象情報なども「予報士メール」で配信し、先を読むことを重視した情報提供を行うとともに、農作業や生育状況・病害虫発生などを手軽に観察記録し、検索利用できる

の「MY天気予報」が欲しい、時間毎の天気の移り変わりや正確な気象の変化を知りたい、というのが農家の願いである。これらを1kmメッシュで精度の高い72時間予報により実現するとともに、気象要素（気温・湿度・風速・降水量など）を条件設定すれば、直ちにメールで知らせてくれる「アラート機能」を完備し、圃場の積算降水量や有効積算温度、霜や降雪の注意アラートなども利用できる機能をも持ち合わせている。さらに、台風や寒波情報、1ヶ月や3ヶ月先の気象情報なども「予報士メール」で配信し、先を読むことを重視した情報提供を行うとともに、農作業や生育状況・病害虫発生などを手軽に観察記録し、検索利用できる

時間	天気	気温	湿度	風速	降水	霜	降雪
24h	☁	28.5℃	72.0%	1.0 m/s	0.0 mm	0	2.0 mm
14h	☁	29.1℃	73.5%	2.0 m/s	0.0 mm	0	1.7 mm
19h	☁	29.8℃	75.4%	0.5 m/s	0.0 mm	0	1.7 mm
24h	☁	30.3℃	77.7%	0.0 m/s	0.0 mm	0	1.4 mm
18h	☁	29.3℃	81.0%	0.5 m/s	0.0 mm	0	1.2 mm
19h	☁	28.0℃	85.7%	0.0 m/s	0.0 mm	0	0.9 mm
20h	☁	27.3℃	81.4%	0.0 m/s	0.0 mm	0	1.5 mm
21h	☁	26.4℃	81.1%	0.0 m/s	0.0 mm	0	1.3 mm
22h	☁	25.7℃	84.3%	0.0 m/s	0.0 mm	0	1.4 mm

クラウド予報画面

あなたも地域の予報士になろう！

気象と観察記録を融合させた情報サービスは農業にとどまらず、地域での自然観察や防災など自然の中での活動や業務に幅広く利用できる。あなたもクラウドを利用した「夕日の予報士」や「ホテルの予報士」など、地域での予報士になりませんか。